

太陽地球惑星系科学 シミュレーション分科会

日時：2024年11月26日（火） 12:45～（波動分科会・粒子加速分科会と合同開催）

会場：C会場（統数研2階会議室1 D222）+オンライン

話題提供（敬称略）

研究集会「STEシミュレーション研究会」（加藤雄人）

研究集会「太陽地球圏環境予測のためのモデル研究の展望」（塩田大幸）

研究集会「シミュレーションと計算科学の学際展開：宇宙・地球・社会」（三好隆博）

第8回ISEEシンポジウム「Frontier of Space-Earth Environmental Research as Predictive Science」（三好隆博）

2025年度研究集会の方針（関係者）

SGEPSS将来構想文書の小改訂について（三好隆博、銭谷誠司）

2025年度JHPCNおよび北大情報基盤センター共同研究公募（梅田隆行）

次年度代表幹事の選出（松本洋介）

今後の分科会管理体制について（松本洋介）

STEシミュレーション研究会～次世代太陽地球惑星系探査に向けて～

【日時】 2024年12月23日(月)午後～25日(水)

【場所】 東北大学・青葉サイエンスホール（青葉山北キャンパス）
およびZoomによるオンライン

加藤雄人・寺田直樹（東北大・理）
堀田英之（名大ISEE）
梅田隆行（北大情報基盤センター）

申込締切：

- ・旅費援助希望あり：~~11月22日(金)~~
- ・旅費援助希望なし：11月29日(金)

【招待講演者およびテーマと日程案】

- 12/23PM 河合宗司 先生（東北大・工）：航空宇宙工学分野における圧縮性流体計算手法
12/24AM 滝沢寛之 先生（東北大・情報）：東北大 AOBA-S [SX-Aurora TSUBASA]
12/24PM 伊藤純至 先生（東北大・理）：極端気象現象のシミュレーション研究

(12/24にAOBA-S見学会を企画)

研究集会「太陽地球圏環境予測のためのモデル研究の展望」のご案内

- 日時：2025年3月3日（月）
- 会場：名古屋大学ISEE
- 世話人：塩田大幸、中溝葵
- 趣旨：予測に向けたモデル開発・結合・取組（モデル：物理モデルに限定しない。分野：太陽～超高層大気）

本研究は、去年はSTEシミュレーション研究会と連続開催させていただきました。今年度は、次にご紹介する研究集会・シンポジウム一連の研究会として開催いたします。

研究集会「シミュレーションと計算科学の学際展開 ：宇宙・地球・社会」のご案内

- 日時：2025年3月4日（火）10:30 –
- 場所：名古屋大学野依記念学術交流館
- 講演者（敬称略）：
井上 諭(NJIT)、陰山 聡(神戸大学)、柴山 拓也(Preferred Networks)、
光田 千紘(富士通株式会社)、Johan Muhamad (BRIN)

本研究会に引き続き、草野完也教授（名古屋大学ISEE）の最終講義「宇宙・地球・人間：さまよえる研究者は何を夢見るか？」が行われます。併せてご参加ください。

ISEE Symposium “Frontier of Space-Earth Environmental Research as Predictive Science” (予測の科学としての宇宙地球環境研究のフロンティア)のご案内

- 日時：2025年3月5日（水）－7日（金）
- 場所：名古屋大学野依記念学術交流館
- 締切：2024年12月15日（日）
- ウェブページ：

<https://www.isee.nagoya-u.ac.jp/symp2025/>

登録・投稿方法、セッション、招待講演者などはウェブページをご覧ください。皆様のご参加をお待ちしております。

2025年度研究集会の方針： STEシミュレーション研究会とモデル研究会

- モデル研究会は予測に向けたものであるが、相乗効果やさらなる発展のために、手始めに2024年度に2つの研究会を連蔵開催
 - →2023年度12月に神戸大学で開催
- 2024年度は諸事情により別途開催となるが、2025年度は元に戻し連続開催としたい
- ISEE申請書を1本にまとめる？
 - メリット：ペーパーワーク減、参加者増
 - デメリット：トータルの予算が減るかもしれない。関係者増により日程調整が難しくなる可能性も。
- →visibilityを維持するために、個別申請することに。25年度は東京圏で連続合同開催予定

SGEPSS将来構想文書の小改訂について

将来構想検討担当 三好隆博（文責）、銭谷誠司

- 昨年度に引き続き、SGEPSS将来構想検討ワーキンググループからSGEPSS将来構想文書「**地球電磁気学・地球惑星圏科学の現状と将来（2023年度版）**」
<https://www.sgepss.org/about/vision.html>
の小改訂の依頼（2024年10月22日）
- 当分科会は「**4.2 計算機シミュレーション・モデリング**」を担当
- 担当箇所の小改訂の検討を分科会MLに依頼（2024年10月23日）
- 今回は以下の小改訂案を提出予定（2024年12月31日まで）

p.4-40

2023年7月現在世界2位の処理能力をもつ「富岳」は

→ **2024年11月**現在世界**6**位の処理能力をもつ「富岳」は

ご承認をお願いします。今後も改訂へのご協力をお願いします。

2025年度「学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点」(JHPCN)共同研究課題公募の案内

梅田(北大)・深沢(京大)

- 2024年11月29日 13:30 公募説明会 (オンライン)
- 2024年12月12日 課題申し込み受け付け開始
- 2025年1月6日 17:00 課題申し込み受け付け終了

<https://jhpcn-kyoten.itc.u-tokyo.ac.jp/ja/cfp>

備考：

- 計算資源：スパコンを有する8国立大学の全国共同利用システム + mdx (1課題で最大～100万円)
- JHPCNは開発要素のある課題・各拠点センターとの共同研究が中心、プロダクトランはHPCIへ
- HPC関連の国際会議への参加旅費支援あり
- 報告書 (中間・最終) の作成がやや面倒…

北海道大学情報基盤センター 萌芽型共同研究の案内（予定）

梅田(北大)

<https://www.iic.hokudai.ac.jp/jr/joint-research/>

（今年度実績）

以下の2種類

- 計算機資源利用型
 - ✓JHPCNの半分ぐらいの資源
 - ✓2025年度から新システムが稼働（Emerald Rapids + H100）
- 研究集会開催支援型
 - ✓情報系（データ科学・HPC・計算科学）の研究集会
- 募集期間：3月中

2025 - 2026年度 代表幹事選出 (+ α)

松本洋介
分科会会長・総務

代表幹事

- 分科会会長（兼総務）を三好（広島大）・松本（千葉大）が2年ごとに交代して務めてきた

本体制を続けることに異論はありますか？→なし

■各役割

- 総務**：分科会に来た連絡の振り分け、各種リマインド
- 研究集会**（2名）：STEシミュレーション研究会のホスト、必須ではないが慣例的にISEE研究集会への申請（1月）
- 会合**（2名）：主に秋学会で分科会会合を担当。会場の申請、他分科会との調整、話題の募集、MLへのアナウンス
- 将来構想**（2名）：SGEPSS将来構想文書の改訂のとりまとめ、学会期間中の会合の出席

担当歴

	代表	総務	研究集会（会合）			会合		将来構想		Web・ML
2013年度	篠原	三好	杉山	寺田		松本		梅田	篠原	梅田
2014年度	篠原	三好	杉山	寺田		松本				梅田
2015年度	篠原	松本	加藤	深沢		三宅				梅田
2016年度	篠原	松本	加藤	深沢		三宅				梅田
2017年度	篠原	三好	埜	三宅		簗島				梅田
2018年度	篠原	三好	埜	三宅		簗島				梅田
2019年度	松本	松本	銭谷	簗島	三好	天野	陣	簗島	三宅	梅田
2020年度	松本	松本	銭谷	簗島	三好	天野	陣	簗島	三宅	梅田
2021年度	三好	三好	深沢	簗島		加藤	陣	松本	三宅	梅田
2022年度	三好	三好	深沢	簗島		加藤	陣	松本	三宅	梅田
2023年度	松本	松本	三宅	加藤		天野	中溝	銭谷	三好	梅田
2024年度	松本	松本	三宅	加藤		天野	中溝	銭谷	三好	梅田

2025-2026年度シミュレーション分科会幹事案

2025-2026年度会長兼総務候補 三好隆博

- 研究集会担当 天野（2025年度）、梅田（三好）（2026年度）
- 会合担当 松本（2025年度）、三宅（2026年度）
- 将来構想担当 銭谷、深沢
- Web・ML担当 梅田

指名しました幹事の皆様、お引き受けいただければ幸いです。
分科会の皆様、ご承認と分科会活動へのご協力よろしくお願ひします。

今後の分科会の管理体制

- 梅田さんが長らく分科会のHPの更新・メンテ、ISEEホストのML (simulation@, spsim@) の管理を担当
- ISEEから北大に異動したことによる
 - ✓今後のHP, MLの管理体制の確認
 - ✓STEシミュレーション研究集会の申請時にISEE側の受け入れ担当の確認
 - ✓→ MLはISEEでの管理は不要。HPについては現状梅田さんによる管理が可能だが、状況が変わったら今後検討